

研究テーマ: 京都・滋賀情報ハイウェイを活用した行政連携実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17048)

研究機関: 京都府、滋賀県

研究の概要:

京都府、滋賀県で利用する防災等のアプリケーションシステムを相互に接続し、府県間の情報共有や行政連携に係る検証を行う。

(1) 滋賀県防災情報システムとの連携

滋賀県防災情報システム端末を京都府庁内に設置し、情報の共有を図る。

(2) 京都府防災ネットワークとの連携

京都府防災テレビ会議システム端末を滋賀県庁内に設置し、相互コミュニケーションツールとして活用する。

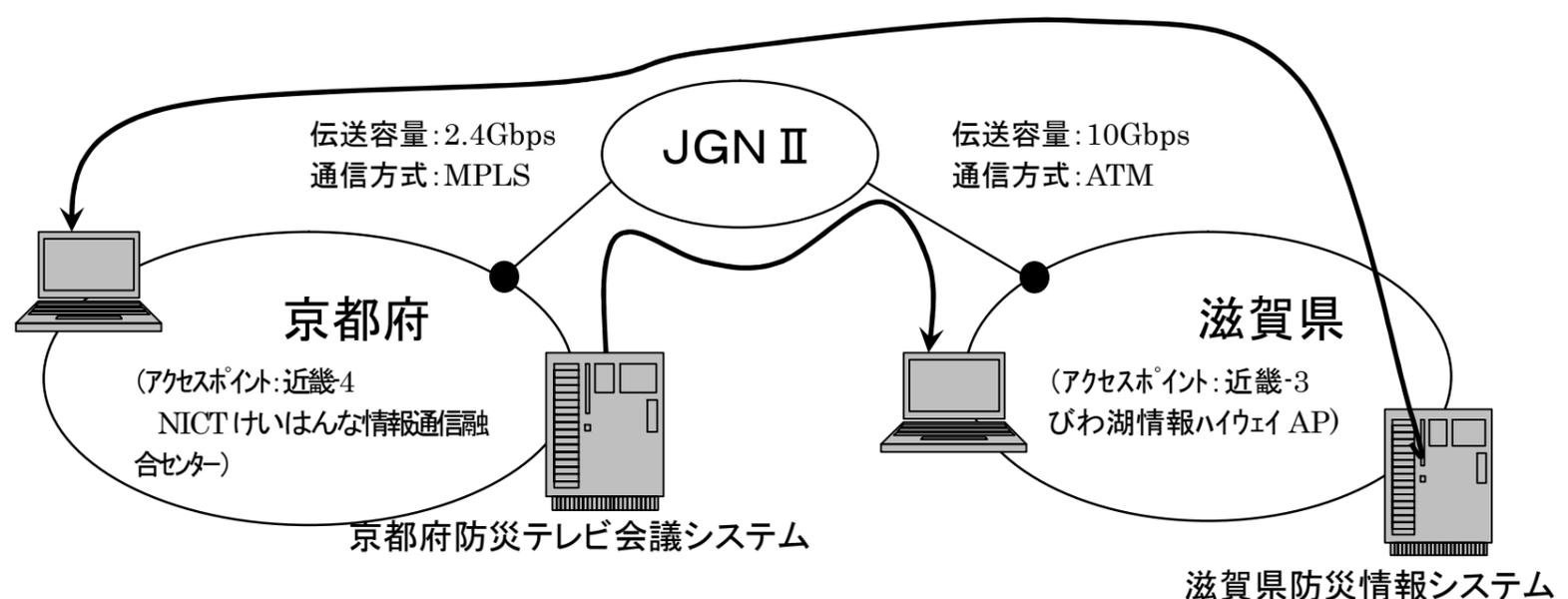
また、京都府情報システムに対し、滋賀県庁内からアクセス可能とする。

研究の目的:

京都府・滋賀県の情報ハイウェイを相互に接続し、行政連携に係る

各種アプリケーションシステムの相互利用のための実証実験を行う

実験機器構成:



研究テーマ：京都・滋賀情報ハイウェイを活用した行政連携実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17048)

研究機関： 京都府、滋賀県

研究開発成果：

防災アプリケーションの相互接続については、順次接続を行い、互いに情報共有が図れる状態とすることができた。ただ、互いにそれぞれの情報を閲覧する状態にとどまり、その状態での行政連携のあり方について検証を行ってきた。

次のステップとしては、アプリケーションレベルでの連携の可能性を探ったり、防災アプリケーション以外での相互接続、連携の可能性を探ることにより、より高度な地域間連携のあり方を探ることとしたい。

プロジェクトのアピールポイント：

京都府及び滋賀県においては、防災対策をはじめ、地域間の連携を深めることでより高度に行政効果をあげることが可能な施策があると考えている。

それぞれの府県では防災システムだけでなく、各種の施策支援的なシステムを有しており、今後、これらのシステムについても地域間連携のあり方を探ることで、地域社会に還元できる成果は大きいと考えられる。

プロジェクトの自己評価：

(1) 研究計画に基づき適切に進められたか

計画に基づき、順次各府県の防災情報システムの相互接続を行い、情報共有のあり方や、行政連携に係る検証を実施してきた。

(2) 今後の課題

防災系のシステムについて検証を続けてきたが、今後、他システムの連携の可能性を探るとともに、防災系システムについてもシステム自体の相互連携など、アプリケーションレベルでの連携の可能性についても探っていく必要がある。